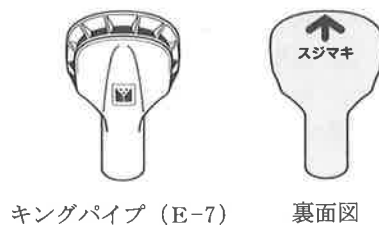


⑧ 作条散布（スジマキ）は、キングパイプ（E-7）にスジマキと表示されている側を上にして、グリーンハンド（E-4）の位置を調整してください。そして自分の前側の爪先30cm位を目安にキングパイプ（E-7）の先端を下向きにしてください。肥料が流出して作条散布（スジマキ）が可能となります。

⑨ 粉状肥料の散布は、キングパイプ（E-7）を取り外し、グリーンハンド（E-4）の位置を散布しやすい位置に調整してください。中間パイプ（E-6）を下に向け自分の前側の爪先20～30cm位に∞ノ字を書く感じで強めに左右に振ってください。



キングパイプ（E-7）

裏面図

⚠ 注意：先端を水平より上へ持ち上げると、パイプ内の粉剤が自分にかかる場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注意：この取扱い説明書に従わなかったため、あるいは誤使用や改造がなされたために発生した損害や事故については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4 補修部品

補修部品に関しましては、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせください。

販売元 株式会社シバタ

製造元 ヤマト農磁株式会社

〒270-0163
千葉県流山市南流山1-2-3 小嶋ビル1F
TEL 04-7157-3752

MADE IN TAIWAN

取扱い説明書

肥料散布器 C-28

容量28ℓ
重量1.5kg

★ 本書に記載した⚠の表示のある注意事項は、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。

このたびは、肥料散布器「C-28」をお買い求めいただき有難うございます。
この取扱説明書は、ご使用前に必ずお読みになり、正しく安全に使用
してください。又お読みになった後も必ず保管をお願いします。

なお、製品の組み立て終了後、検査を実施しておりますが、ご使用前に
各部のネジの緩み、部品数及び損傷等の無い事をご確認願います。

1 組み立て方と各部の名称

E = 取扱説明書

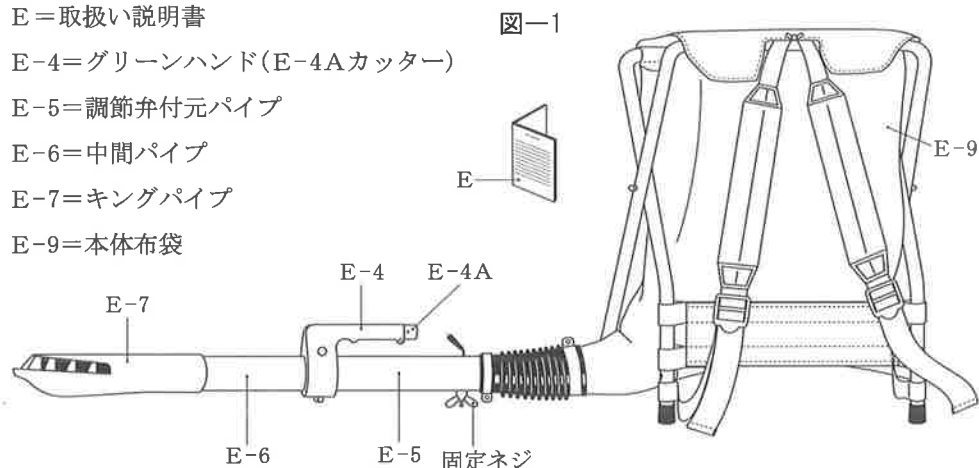
E-4 = グリーンハンド(E-4Aカッター)

E-5 = 調節弁付元パイプ

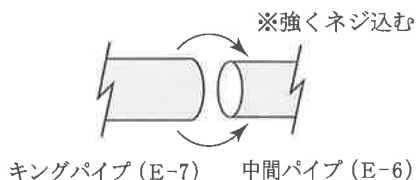
E-6 = 中間パイプ

E-7 = キングパイプ

E-9 = 本体布袋



- ① 本体布袋より中間パイプ (E-6)、キングパイプ (E-7) を取り出し、図-1 のように組み立ててください。
- ② キングパイプ (E-7) 及び中間パイプ (E-6) を使用するとき、ネジ込むように強く差し込んでください。
- ③ 肥料袋を開封する為、グリーンハンド(E-4) 内にカッター(E-4A) が内蔵されています。



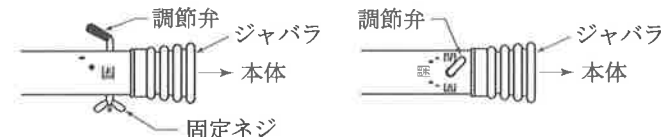
2 ご使用いただくための注意とお願い (⚠ 本製品の使用前に必ず使用する肥料等の取扱説明書をお読みください。)

- ⚠ ① 内容量は約28ℓ、構造上では最大25kgの重量(袋投入時)に耐えられるようになっております。それ以上は絶対に投入しないでください。
- ⚠ ② 本体の上に予備肥料をのせたり、腰掛などに使用しないでください。
- ⚠ ③ 本品は、肥料散布器ですので、その他の散布には適しません。

- ⚠ ④ 湿り気のある特殊肥料の散布には適しません。
- ⚠ ⑤ 肥料を本体布袋(E-9)に約23ℓ以上投入しますと背負うときにこぼれるおそれがありますので適正な投入量を守ってください。
- ⚠ ⑥ 散布後の残りの肥料は本体布袋(E-9)より移し替えて保管してください。
- ⚠ ⑦ 風向きに注意して散布してください。散布時には帽子、マスク、手袋、長袖、長ズボンの着用をお願いします。
- ⚠ ⑧ 温度が50℃以上の場所に置かないでください。樹脂の性質上変形することがあります。
- ⚠ ⑨ 使用後は、水で良く洗って陰干しをしてください。そして、ネジ締付部の締付を確認のうえ、キングパイプ(E-7)、中間パイプ(E-6)を袋部に収納して保管してください。
- ⚠ ⑩ 肥料を入れた状態で傾けたり落下させたりしないでください。

3 散布方法

- ① 本体布袋(E-9)に肥料は入れずに、「C-28」を背負って、背負いバンドおよびグリーンハンド(E-4)を自分の体に合うように調整してください。
- ② 中間パイプ(E-6)、キングパイプ(E-7)の順に装着してください。キングパイプ(E-7)はシールが貼ってある方が全面散布用です。また180度回し、上下を逆にするると作条散布(スジマキ)用となります。
- ③ 調節弁付元パイプ(E-5)の弁は必ず「閉」に合せて下側の弁固定ネジを締めてください。
- ④ 本体のパイプ脚を開いて安定を確認して、投入口より肥料を投入してください。
- ⑤ トラックの荷台などを利用して背負うと、楽に背負うことができます。
- ⑥ 背負った後に調節弁の固定ネジを少し緩めて「閉」より1/3ほど調節弁を開けてください。そして左右に振って施肥量、歩行速度、散布巾に合せて適量を決めた後に、調節弁の固定ネジを強く締めてください。



- ⑦ 落差と遠心力を利用しています。全面散布の場合はキングパイプ(E-7)を装着後、水平線よりやや下向きで左右に振るだけで、均一散布ができます。パイプが長すぎて散布しにくい場合は、中間パイプ(E-6)を外し調節弁付元パイプ(E-5)に直接キングパイプ(E-7)を取り付けて散布してください。

